



## PRESS RELEASE

大学記者クラブ加盟各社 御中

平成 20 年 11 月 28 日  
岡 山 大 学

### 創薬従事者養成のための教育体制 「岡山大学モデル」の構築

「創薬」へ憧れる学生の意欲喚起と即戦力となる人材育成を目指して  
～ 「岡山大学モデル」の確立 ～

#### 【概要】

「創薬」は 21 世紀の基幹産業であり、それに憧れを抱く薬学部をはじめとする理系学生は、我が国の経済発展において重要な人材です。しかし創薬学という学問体系はなく、今後創薬の教育システムを構築していく必要があります。そのためには高校での履修科目と大学専門科目の系統的な連携、入学後の創薬へのさらなる意欲亢進などに取り組みなくてはなりません。

本取り組みは、(1)入学時教育の充実、(2)学生のモチベーション向上のための教育研究環境の整備、(3)コミュニケーション能力や創薬研究における応用力養成環境の整備などを進め、我が国の「創薬従事者育成のための基盤教育モデル」の構築を目指します。

本取り組みは、平成 20 年度の岡山大学学内教育 COE に採択され、この実績をもとに、文部科学省大学教育改革等支援プログラム (GP) の申請などを計画しています。

## 1. 背景

近年、医療における薬剤師が果たす役割は大きく変化しました。この状況を踏まえて、国の方針により、平成 18 年度から、薬剤師教育は 6 年制へと移行しました。加えて、これまでに我が国の薬学部が創薬科学者を育成してきた実績を考慮し、その実績の継続と更なる創薬科学者の育成を目指し、創薬研究者育成のための 4 年制学科である創薬科学科を新たに開設しました。

このような新しい教育課程がはじまりましたが、以下の 2 つの課題を抱えています。

- (1) 新しい学問体系である創薬学の教育システムの構築
- (2) 創薬への意欲の向上への取り組み

## 2. 目的・戦略

本事業では、上記課題の解決を目的に、以下の事柄を実行しています。

- (1) **入学生の基礎力を充実するための取り組み**
- (2) **創薬従事者への「あこがれ」を育むための取り組み。**
- (3) **製薬業界で要望される人材、我が国の製薬産業を牽引しうる人材へと育成するための取り組み**

## 3. 内容

以下について内容を実施中です。

- (1) **入学生の基礎力を充実するために**  
高校履修科目と大学専門科目間の連携をよりスムーズにするための方策を検討しています。また最近では学生のコミュニケーション能力・学習スキル能力の低下も問題となっていることから、その解決のために何をすべきかを議論、その方法を創出しています。



## PRESS RELEASE

### (2) 創業従事者への「あこがれ」を育むために

創業研究に携わることへの「あこがれ」や「希望」をより感じるように、学内研究環境の改善、また社会においては「創業従事者」がいかに活躍しているかを知るための場を提供しています。今年9月には、本学創業科学科3年生を対象とした研究所等の見学・学外研修を行いました。また、製薬企業・大学の研究機関で創業研究の最前線でご活躍の方々を講師にお招きした講演会を行っています。

### (3) 製薬業界で要望される人材、我が国の製薬産業を牽引しうる人材へと育成するために

「くすり」は命に密接なものであり、それに関わる者としての倫理感が必要です。本学では医学部の協力のもと、人体解剖見学などを行っており、その拡充などを検討しております。さらに、創業には知的財産教育も必要です。そのための教育システムの検討、さらには製薬企業知財部の方、特許庁の審査官等を講師に招き講演会などを知的財産本部と連携し実施しています。また創業研究は多分野との共同作業により行われることから、研究指導體制の異分野連携を推進しています。



学生は、学習への意欲がなければ、どんなに優秀な成績で入学しても、創業に通ずる応用力をつけるまでに至りません。本プロジェクトでは、製薬産業の求める人材に十分育つことを目指しています。

## 4. 展 望

「創業」に「あこがれ」を抱く学生が、モチベーションを保ちながら、「倫理観の涵養」「コミュニケーション能力」「即応力」「知財」「異分野連携的研究力」などを身につけて、製薬産業が求めるマルチスペシャリストになれることができる教育体制を確立し、「岡山大学モデル」として発信したいと思えます。そのためにも、今後は文部化学省などの支援を受けて、さらに発展させて本活動を進めていきます。

### 【お問い合わせ】

岡山大学大学院医歯薬学総合研究科(薬学系)  
加来田 博貴  
電話番号/FAX番号：086-251-7963